

# みやぎSDGs Farm



## みやぎSDGs Farm

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGs Farm」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業  
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]  
河北新報社営業局  
TEL. 022-211-1318  
koukoku@po.kahoku.co.jp

# 祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.28



「小さな掛け金で、暮らしの安心をお届けしたい」。県民共済はそんな思いから生まれました。安心できる保障をお届けすることで加入者の生活向上と家計負担の軽減に努め、安心安全な社会の実現を目指しています。

みやぎSDGs Farmに参加して、県民共済の事業も「誰一人取り残さない社会づくり」を目指すSDGsに通じていることにあらためて気がつきました。そしてこれまで以上に自分の仕事にやりがいを感じることができました。今後もお客様から共済に関するお問い合わせやご相談をいただいた際には、皆さまが少なからず抱えている暮らしや生活に対する不安な気持ちに「配



「松かま」は宮城の地で蒲鉾を造り、全国から松島を訪れる観光客の皆さまにお楽しみいただくことを喜びとしている企業です。その歴史は前身を含め創業以来約90年を数えます。

日本三景松島の景観を愛でながら、海の恵みである魚から造った蒲鉾を楽しんでいただく。この松かまの魅力は「海の豊かさ」なくしては成り立たないものです。美しい景色がなくなっても、美味しい魚がいなくなっても、松かまは持続不可能なのです。みやぎSDGs Farmを通じて、海の恵みがたまたまただ享受するだけの姿勢から、持続させていくための努力へと意識を変えていかなければならないと強く感じました。



「あっという間に集まるね」みやぎSDGs Farmへ初回参加し、職場に達成目標の見える「エコキャップ回収箱」を設置した数日後、同僚からのうれしい一言でした。

きっかけさえあればハードルが下がります。「どう活かされるか」を見える化することで、参加する意味も理解でき、より行動しやすくなります。一人が一歩踏み出すことで、周りも一歩踏み出せることを実感したできごとでした。

山大は、自然界唯一の循環資源である木材「杉」を中心として地産地消(商)を基に、植林・製材・加工・販売・施工を行っている「山にも町にも「森」を作っています。その



おめでとうござります!!

## 『配慮』を人にも環境や社会にも 宮城県民共済生活協同組合 遠藤早織さん

「配慮」をしながら、ご安心ご納得いただけるような説明を心掛けたいと思います。また個人の取り組みとして、今後は環境や社会にもより一層『配慮』をしていきたいと感じました。学んだ中ですぐに実践できると考えたのは「エンカル消費」です。エンカル消費とは人・社会・地域・環境に『配慮』したものを選んで消費することです。具体的には、買い物をするときに詰め替え商品を選ぶ、地産地消で地域経済を応援するなど、僅かな意識でSDGsにつながる事が多くあります。少しずつでも自分のできる『配慮』を継続的に実践していきます。



## 海の恵みを楽しむ立場から、持続させていく努力へ 松島蒲鉾本舗 葛西健太郎さん

そのために、多賀城工場の太陽光発電によるクリーンエネルギー利用、余剰り身の有効活用や生産出荷体制の見直しによる食品ロスの削減、プラスチック包材の転換などに取り組んでいきたいと考えています。またそういった取り組みを積極的に外部に発信していくことで、お客様やパートナー企業の皆様、従業員を巻き込みSDGsの輪を広げていく役割も果たしていければと思います。次の世代に美しい松島をつないでいくために、できることから努力していきます。



## 山・町・心に「森」を 山大 三上明子さん

中で私は、建築現場で木材を組み立てるだけの状態に加工する仕事をしています。住む人の暮らしを思い浮かべながら、地産材を使用し地元で加工し、家を建てる。それが地域の景色となり、故郷の街並みとなり、心の風景となっていきます。今回みやぎSDGs Farmに参加することで、あらためて会社の存在意義、そして自身の仕事に対する誇りを感じました。地域材を使い植える事で、持続可能な明るい未来につながることを、一人でも多くの人に発信し、共に「森」を広げる仲間を増やしていきたいと思えます。一人でも多くの人がSDGsを「自分ごと」に。

